

小説

『彼女は逃げ切れなかった』

西澤 保彦 著

警察を早期退職した瀨瀨古都乃の目の前で車が自転車の女性に突っ込み逃走した。現場に居合わせた双子の小学生が閃光を放ったように見えた後、轢き逃げ車は不自然に急停止し、そのトランクから遺体まで発見され……。不思議な双子と還暦の元一課の刑事が織りなす連作安楽椅子ミステリ。

趣味 実用

『北のお天気事件簿』

合田 一道 著

「長雨の影響による作物を食い尽くすバッタの大量発生」、「北大山岳部の遭難事故」、「オホーツクを襲ったホワイトアウト」——。北海道のノンフィクションを手がける第一人者が、猛吹雪、台風、大時化など明治から令和に起きた北の大地の天変地異を振り返る。

小説

『あのころの僕は』

小池 水音 著

母を亡くした「僕」は自宅と3つの親戚の家を行き来しながら幼稚園に通っている。大人たちが与えてくれる優しさや愛を体いっぱい詰り込めこんでも、収まりきらないことに戸惑いを覚えていた。ある日、外国からやってきた転入生も差し出されるたくさんの親切を抱えきれずに見えて……。

趣味 実用

『ホンネがわかる妻ことば超訳辞典』

高草木 陽光 著

妻の「あ～疲れた」に対して「オレのほうが疲れてる」「夕飯は簡単なものでいいよ」などと返していませんか？ 実は妻のこの短い言葉の中には、膨大なホンネが隠されている！ 日常のありがちなシーンから発せられる妻の言葉の真意やこじらせないための返答例など夫婦円満の道を探る1冊。

小説

『ちゃっけがいる移動図書館』

高森 美由紀 著

小田桐実、35歳、非正規図書館職員、独身。得た資格を基に再就職を目指していたが、いつしか夢も消え去っていた。周りと距離を置きながら淡々と仕事をし、融通の聞かない彼女のそんな白黒な毎日は1匹の子犬との出会いから色づき始めた！ 青森を舞台に描くわんこの感動ストーリー。

趣味 実用

『心身の不調が楽になる』

鉄分ちょい足しごはん』

毛利 有香 著

なかなか取れない疲労感、頭痛や毛髪のトラブル、睡眠の質の低下……。もしかしたら鉄分不足が原因かも！ ミネラルの中でも満たすのが難しいとされる鉄分を手軽に食事に取り入れられるコツを伝授。家にある食材ですぐ実践できる楽ワザ満載です。

小説

『一場の夢と消え』

松井 今朝子 著

越前から上京した浪人の杉森信盛は、博学で物怖じせず遠慮のない性分を公家の正親町公通に気に入られ、話し相手として仕えるようになった。ある時、忙しくなった公通に代わって浄瑠璃の案文するように頼まれ——。日本史上最高のストーリーテラー近松門左衛門の虚実皮膜を漂う生涯とは。

趣味 実用

『戦う山城50』

今泉 慎一 著

「戦国をリアルに体感したいなら山城へ」煌びやかな平山城とは違う、まさに戦いのための城・山城のディープな世界へご案内。古城探検家の筆者が全国各地、すべて実際の足で“攻めた”個性派ぞろいの名城の象徴的なスポットはもちろん、城域をくまなく回り、築城者の意図にも思いを馳せる。

小説

『スイマーズ』

ジュリー・オオツカ 著

滑稽なまでに地下深いこのプールに通い詰める人々がいる。潰えた夢や心身の不調、結婚生活の破綻、リストラ、認知症……。泳ぐと束の間、彼らの抱えた傷は癒え、ただの「わたし」に戻ることできるから。しかし、プールの底に原因不明のひびが現れてからスイマーたちの日常は崩れ始めた。

趣味 実用

『北の国から家族4人幸せ自給生活』

三栗 祐己・三栗 沙恵 編

プレハブの家を建て、鶏を飼い、野菜を育て、保存食も衣服も手作り。水や電気などのライフラインも全て自給する。東日本大震災を機に東電を辞め、北海道の山奥で自給自足の暮らしを始めた一家がたどり着いた、働きすぎず、手作りを楽しむ穏やかで充実した日々を覗く。